

会 議 録

会議の名称	第1回小金井市保健福祉総合計画策定委員会
事務局	地域福祉課
開催日時	平成22年12月21日(火) 午後7時から午後9時まで
開催場所	小金井市市民会館 萌え木ホールA会議室
出席者	(委員) 山口委員長、竹内副委員長、伊藤委員、高氏委員、中里委員、平野委員、井爪委員、齋藤委員、森田委員、矢野委員、鈴木委員、木所委員 (事務局) 福祉保健部長、地域福祉課長、障害福祉課長、介護福祉課長、介護福祉課長補佐、健康課長、作業部会職員、コンサルタント会社研究員
欠席者	0人
傍聴の可否	可 ・ 一部不可 ・ 不可
傍聴者数	0人
傍聴不可等の理由等	
会議次第	1 会議開始にあたって 2 委嘱状交付 3 市長挨拶 4 委員自己紹介 5 事務局職員、コンサルタント会社研究員紹介 6 委員長、副委員長の選出 7 計画の概要について 8 アンケート調査票について 9 講演「地域における協働の可能性」 講師：山口委員 10 その他 次回の日程等について
提出資料	1 小金井市保健福祉総合計画策定委員会設置要綱 …資料(1) 2 小金井市保健福祉総合計画策定委員会委員一覧 …資料(2) 3 小金井市保健福祉総合計画推進会議設置要綱 …資料(3) 4 小金井市保健福祉総合計画検討作業部会の設置について …資料(4) 5 計画期間について …資料(5)

	<p>6 組織体制イメージ図 …資料(6)</p> <p>7 策定スケジュール …資料(7)</p> <p>8 第4次基本構想・前期基本計画(抜粋) …資料(8)-(1) - (2)</p> <p>9 地域福祉計画アンケート調査票(案) …資料(9)</p> <p>10 講演用資料「地域における協働の可能性」 …資料(10)</p> <p>11 小金井市地域福祉計画(平成17年3月策定)、進捗状況報告及び追加施策一覧</p> <p>12 小金井市障害者計画・第2期小金井市障害福祉計画(平成21年3月策定)</p> <p>① 本編</p> <p>② 概要版</p> <p>③ 市民アンケート調査結果報告書(平成20年9月)</p> <p>13 第4期小金井市介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画(平成21年3月策定)</p> <p>① 本編</p> <p>② 概要版</p> <p>③ 高齢者の生活と意識に関する調査報告書(平成20年11月)</p> <p>14 介護保険べんり帳</p> <p>15 のびゆくこどもプラン小金井(平成22年3月)</p> <p>① 本編</p> <p>② 概要版</p>
<p>そ の 他</p>	

会 議 結 果

事務局	<p>1. 会議開始にあたって</p> <p>資料1～資料4に基づき、事務局より説明</p>
事務局	<p>会議録作成について、市民参加条例施行規則第5条の規定により、あらかじめ関係附属機関で諮った上、作成方法が決定されるようになっており、全文記録、発言者の発言内容のみの要点記録、会議内容のみの要点記録の3つの方法となるが、ご意見をいただきたい。</p>
竹内委員	<p>情報公開を求められる時代なので、誰が見ても分かりやすいように、発言者の発言内容の要点記録がよろしいのではないかと思います。</p>
事務局	<p>今、ご意見をいただいたが、ご異議はないか。</p> <p>— 「異議なし」の声あり —</p>
事務局	<p>発言者の発言内容ごとの要点記録とさせていただく。なお、会議録作成上、発言される前に名前を名乗ってからお願いしたい。</p> <p>お手元に資料1～10までと福祉分野の今までの各計画及びアンケート調査報告書等配布してあるので、確認させていただきたい。</p> <p>— 配布資料の確認 —</p>
	<p>2. 委嘱状交付</p> <p>※任期：平成22年12月21日から平成24年3月31日まで</p>
事務局	<p>3. 市長挨拶</p> <p>急遽公務のため欠席することになり、非常に申し訳なく思っている。長期にわたりご負担をかけることになるが、今後ともよろしくお願ひしたいという言葉をお願いしているの、ご報告させていただく。</p>
福祉保健部長	<p>市長に代わり、福祉保健部長より挨拶をお願いしたい。</p> <p>今まで介護保険、障害福祉、健康づくりなど個別の計画はあったが、連携が難しいところもあるため、皆様には、それを1つの計画の中に盛り込み、全体をつなぐ形で地域福祉という計画で網をかぶせるというものをイメージして、計画づくりをお願いするところである。個別の計画は、各部会で作らせていただくが、私たちはその計画を基にしながら、一方では地域福祉という計画を考えていただきたい。</p> <p>過日、障害者週間行事の特別講演会の中で、新潟地震の現地調査をされた方の「人付き合いが命を救う」という報告があったが、やはり</p>

	<p>地域で人付き合いが活発に行われることが日常生活の安心、万が一の時の安心を生むと思う。新しいコミュニティというとおこがましいが、もう一度地域を見て、新しい人間関係をつくっていかないといけないと思うので、その仕組みづくりを担っていただきたい。</p> <p>来年の3月まで、いろいろお力をいただくわけだが、ぜひご協力を賜りたい。</p> <p>4. 委員自己紹介</p> <p>※策定委員会委員一覧（資料2）参照</p> <p>5. 事務局職員、コンサルタント会社研究員紹介</p> <p>6. 委員長、副委員長の選出</p>
事務局	委員長選出方法は、従前の例では指名推薦が多いが、どなたか選出方法についてご意見があればお願いしたい。
竹内委員	指名推薦の方法でよろしいのではないかと思う。
事務局	今、指名推薦というご意見をいただいたが、ご異議はないか。 — 「異議なし」の声あり —
事務局	指名推薦ということで、どなたか推薦いただきたい。
竹内委員	大学で地域福祉、社会福祉の勉強をされて、全国的にもいろいろ情報を集めて勉強されておられる、学識経験者の山口委員が適任ではないかと思うので推薦する。
事務局	他に、ご推薦等あるか。 — 特になし —
事務局	では、委員長を山口委員にお願いすることによろしいか。 — 拍手多数 —
事務局	委員長は山口委員にお願いいたします。 続いて、副委員長の選出方法についてご意見はあるか。
矢野委員	こちら指名推薦がいいと思う。
事務局	こちら指名推薦というご意見をいただいたが、ご異議はないか。 — 「異議なし」の声あり —
事務局	指名推薦ということで、どなたか推薦いただきたい。
森田委員	こういった委員会のご経験がたくさんお有りになる、竹内委員を推薦させていただきたい。
事務局	竹内委員を副委員長にというご推薦をいただいたが、他にご推薦はないか。

事務局	<p>— 特になし —</p> <p>では、副委員長を竹内委員にお願いすることでよろしいか。</p>
事務局	<p>— 拍手多数 —</p> <p>副委員長は竹内委員にお願いいたします。</p>
山口委員長	<p>— 山口委員・竹内委員、委員長・副委員長席に移動 —</p> <p>委員長という大役を仰せ付かり緊張している。地域の中の大事な計画なので、皆様に力をいただきながら、後ろから支えて行くような案内役としてやっていきたい。よろしく申し上げます。</p>
竹内副委員長	<p>山口委員長を補佐して、市民の期待に応えられるような素晴らしい計画づくりに力を尽くさせていただきたい。よろしく申し上げます。</p>
事務局	<p>これより、進行を委員長にお願いする。</p>
事務局	<p>7. 計画の概要について</p> <p>※計画期間について（資料5）、組織体制イメージ図（資料6）、策定スケジュール（資料7）に基づき説明</p>
コンサルタント	<p>8. アンケート調査票について</p> <p>※地域福祉計画アンケート調査票（案）（資料9）に基づき説明</p>
山口委員長 矢野委員	<p>ただ今の説明でご質問、ご意見等ございましたら、お願いしたい。</p> <p>3ページ、問5の職業の欄の専門的職業で、欄が狭くなるということもあると思うが、大学とか学校の教師とかそういうのも専門的職業に入るのではないかと思う。私も教員だが、公務員に○を付けるのかなとか、私学の場合はどうするのかとか、そういう部分で迷う方が出るのかなと思った。4ページの間6-(2)の同居家族の構成の設問で、高校生、大学生、20代~40代と年代が飛んでいるのは何か意味があるのか。</p>
コンサルタント	<p>この設問は、平成15年の設問をそのまま使ったということもあるが、特に支援が必要という形の同居者がどのくらいいらっしゃるのかを把握するために、あえてこういう書き方をさせていただいた。</p>
矢野委員	<p>引きこもりとか、大学は出たが就職できないで、結局家にいるとかフリーターといった青年期の人たちや、働き過ぎて鬱になった30代、40代といった人たちの、社会問題になっている今の状況では、そういう年代もきちんと把握できるほうがいいのかと思ったので、その辺も入れたほうがいいのかと感じた。ただ、内容が広がってしまうので、どこまでどうかというところもあると思う。</p>

事務局	1点目、2点目の表示の方法だが、市のほうとしても、20代、30代の引きこもりや鬱のそういう問題意識は持っており、その辺をどう調査に入れるか分からないが、他の計画も見ながら工夫させていただき、改めて報告させていただきたい。
高氏委員	性別だが、性同一性障害のことがあるので、その他という形で3番を作ったほうがいいのではないかな。
事務局	いろいろな計画の調査でも性別については悩んでおり、その他という書き方がどうなのかということもある。性同一性で悩んでいる方は自分が思っている性にされていいと考えている。
高氏委員	この間、他のアンケートをしたとき、どうしようかということで、その他を入れようとなり、やったばかりだった。自分が思っている性でいいということで了解した。
井爪委員	問12はほとんど町内会という言葉が入っているが、今、町内会組織率がすごく下がっていて、私の近所もほとんど町内会から離れており、入ってなくても近隣と親しく付き合っとかいろいろ条件があるので、もう1つ工夫はできないかと思う。
事務局	平成15年と比較するためあえて出していたが、経年変化は見れなくなるかもしれないが設問をいじることも検討はしてみたいと思う。
井爪委員	町内会に入っていない方はみんなその他になり、その他の意味が、いろいろなものが含まれることになるので難しいかなと思った。
事務局	町内会という表記にすると組織になるので、地域とか近隣といったもう少し幅の広い表現にしてもいいかと思うので検討する。
平野委員	関連で、問10の2に自治会とあるが、自治会をイコール町内会と解釈していたが、この違いはあるのか。経年変化を見るのはもっともなことなので、もう少し親切に（町内会）と入れて解釈すれば、○が付けやすいのではないかな。
事務局	日ごろ、町内会・自治会と並べて表記させていただくので、その形に改めさせていただきたい。
井爪委員	もう1つ、地域とのかかわりについてなので入らないかもしれないが、問14のところで、最近、私の所に頻りに寄せられる相談は、地域がシャッター通りになり、もうお店をやっていけない、生活ができない、何とかならないかという、経済的なことがとても多い。切実な相談を受けており、私自身いつも悩んでいるので、問14に経済的なことは入らないかな。
コンサルタント	4番が近い部分であるとは思いますが、今、言われたのは実際の地域の課題の部分と思うので、少し検討させていただきたい、

高氏委員	<p>問16の中で、1の「あいさつをしない人が多い」はここに入れなくてもいいのではないか。また、11の「地域の中で気軽に集まれる場」で、私からすると高齢者が集える場所が少ないように思うし、集まれる場というのはいろいろあって分からないので、もう少し具体的なほうがいいと思う。12の「障害者に対する理解が不足」も問題点として分かりにくいし、13の「健康に対する意識が低い」は問題点としてどうなのか。例えば、行政からの働きかけが少ないかなということもあり、この辺もう少し検討していただきたい。</p>
コンサルタント	<p>1のあいさつについては、問題点というより、むしろ不足していると、皆さんが感じられているかどうかをお伺いしたいということと、あとはなるべく分かりやすい言葉で選択肢を作った関係で、わりと誰にでも当てはまるような形にしたため、言葉が変になった部分が現状としてある。</p>
平野委員	<p>私は、1、4、11に○を付けたが、不足の面から考えると隣近所であいさつするのが当たり前であり、子どもたちにあいさつをして、返って来ない場合もう一度言って、なぜしないのかまで聞くようにしているが、そこまで我々がしてあげないといけないと思っている。また、11は集会所とかいろいろな言葉を使わず、こういう言葉にしないと、これはアトランダムで発送するものなので、誰でも分かりやすいような、直感的に○が付けられる、そういうのがアンケートだと思うので、1と11はこれでいいと思う。</p>
矢野委員	<p>賛成である。また、自立支援協議会の中でも障害者の方を対象にしたアンケートを検討しているが、表記を見ると「障がい」と「がい」がすべて平仮名で書かれている。協議会のほうでは、当面、法制面の動向を待つということで漢字表記にしているが、市の方針として平仮名表記でいくと決めているのか。</p>
事務局	<p>基本構想の中では平仮名表記を使っている。現在の社会情勢等を考えて平仮名を使っているが、計画を最終的に策定するまでの間、国が方向性を示した場合についてはそれに沿った形で行いたい。ただ、ここで平仮名表記をしていて、障害者部会のアンケートが漢字ということにはならないので、そこは調整させていただきたい。</p>
高氏委員	<p>問18の中で、2「趣味などの話し相手」とあるが、趣味など話している余裕はなく、これは相談相手ではないか。「相談相手になる」のほうがいいのではないかと思う。</p>
コンサルタント	<p>ここではちょっとした趣味等を聞いてあげる形のもので、切実な形での相談というのは、想定していなかったが、そういう相談ができる</p>

<p>高氏委員 コンサルタント</p>	<p>というものも、新たな設問として加えてもいいかと思う。 問20のここの支援者というのは、どういう方を指すのか。 実際に災害が起こった場合、一番に助け出させたりとかするような方をイメージしていた。</p>
<p>事務局</p>	<p>災害時要援護者とか支援者という形で急に言葉が出て来ているので、少し説明文を付け加えて分かりやすくさせていただきたい。</p>
<p>平野委員 コンサルタント 平野委員</p>	<p>問8は網掛けがないけれど、7年前と同じなのか。 今回、新たに導入している。 クロス分析されるのに、他との関連があるならば別だが、過去のものがあるって経年変化を見るならばこれでよろしいとは思いますが、問8や問23など全体的に五者択一はなかなか付けづらいので、三者択一にして、取り組む、取り組まない、できない、としたほうが書く方が○を付けやすいと思う。また、問19も「はい」と「いいえ」だけでいいのではないかと思う。</p>
	<p>問10から13までで、地域と近隣と近所をそれぞれ出している。問10で地域とはどうかということで、1で隣近所という表現があり、問11では地域で、問12では近隣で、問13は近所になっている。一番最初に地域という考えを持ってきているので、全部「地域」ではないかと思った。その区別で広い、狭いというのがあるが、何となく回答するのに難しいと思った。 問21の「問14、16でお答えになったことなど」となると、必ずひっくり返すので、それを避けるために、問21を関連がある問16の下に持って来て問17にしたほうが書きやすいのではないかと思った。</p>
<p>高氏委員 コンサルタント</p>	<p>私もそう思った。 1点目の問8は、過去の経験から、暮らしやすいか暮らしやすすくないかという二者択一ではなく、まあ暮らしやすいという少しぼやけた表現があったほうが○を付けやすいという方もいるので、こういう形にさせていただきました。 問19に関しても、例えば手助けができるかできないかで、意外と若い方で分からないという方も多かったり、逆に70歳以上の方でできると答えられる方が多かったりすることがあるので、分からないという方に対しての情報提供なり、啓発が必要ではないかという部分が読み込めるかなということで、あえて「わからない」を入れた。 2つ目の問10から13までの地域、近隣、近所という表現については、回答される方がイメージしやすいように検討する。 問21に関してはご指摘の通りだと思うので、もう一度、事務局と調</p>

	整させていただきます。
高氏委員	問8で「暮らしやすいとは思わない」とあるが、どういう所が暮らしにくいのか聞けるようなものはできないか。
竹内副委員長	次の「地域における協働の可能性」もまだ残っており、今日いただいてすぐに意見を出すのはなかなか大変と思う。時間もだいぶ過ぎているので、多少日にちに余裕があるなら、今のような意見を事務局に届けて、事務局のほうで検討していただいてはどうだろうか。
山口委員長	皆さん、いかがか。
	— 「異議なし」の声あり —
事務局	来年1月の会議では、事前に修正案を送らせていただき、承認を得たいと考えているので、他に意見、修正等があれば、来年の1月14日までにFAXかメール等でご連絡いただきたい。
山口委員長	ご意見については、そういう形で対応させていただきます、アンケートについての質疑応答は終わらせていただく。
山口委員長	9. 講演「地域における協働の可能性」 講師：山口委員 ※講演用資料「地域における協働の可能性」（資料10）参照
事務局	10. その他 次回の日程等について 来年1月26日（水）午後7時、場所は同じ小金井市市民会館の予定だが、来年早々、文書でお知らせする。
山口委員長	すべての議題は終わったので、本日の委員会は終了したい。